

ニューズレター No.91

発行人 寺田 貢

2016(平成28)年11月21日発行

日本リメディアル教育学会, ニューズレターNo.91 をお届けいたします。今回は,

- (1)第1回 東北支部会支部大会のご案内
- (2)第9回 関西支部会支部大会のご案内
- (3)第5回 関東・甲信支部会支部大会のご案内

についてお知らせいたします。

第1回 東北支部会支部大会のご案内

以下の日程で, 第1回の東北支部大会を開催いたします。会員の皆様, ぜひご参加くださいますよう, お願いいたします。また, 本学会の活動内容にご関心がおありの方が身近にいらっしゃいましたら, 遠慮なくお誘いあわせの上, ご参加ください。

日時:平成28年12月3日(土曜日)13時~17時を予定(受付開始12時)

場所:桜の聖母短期大学 〒960-8585 福島県福島市花園町3-6

形式:口頭発表:発表時間20分(15分, 質疑応答5分)

PC持ち込み可(学内LAN接続不可)

テーマ:

分野分類1(入学前教育/リメディアル教育/初年次教育/キャリア教育/その他)

分類分野2(英語/日本語/理数系/学習支援/ICT活用/コミュニケーション能力育成/その他)

配布資料:予稿集や報告集の発行は予定しておりません。発表者の方で資料の配布を希望する場合は, 本学で印刷いたします。

情報交換会:18時30分~(福島市内を予定 参加費4,000円を予定)

参加申込:平成28年11月30日(水曜日)締切

申込方法:参加について, 申込書に記載し電子メールに添付, またはFAXにて申し込む。

連絡先・申込先:

〒960-8585 福島市花園町3-6 桜の聖母短期大学 加藤竜哉

FAX:024-531-2320 e-mail:tatsuyak(at)ssjc.ac.jp

送信の際には, (at)は@に変更のこと

(東北支部会支部長 加藤 竜哉)

第9回 関西支部会支部大会のご案内

関西支部大会では, 学習言語部会との共催により, 以下の要領で第9回支部大会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。申込は不要です。

日時:2016年12月11日(日)

場所:京都三大学教養教育研究・推進機構「稲盛記念会館」102教室 〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1番地5(京都府立大学内)

共催:日本リメディアル教育学会学習言語部会

プログラム

10:00~11:00 個人研究発表

浅野 享三(南山大学短期大学部)

「『使える』英語を目指すリメディアル授業を控えませんか—人工知能時代に向けて—」

外国語(英語)教育が大学までの学校教育ですべきことは何かに関連して, 大学リメディアル授業が変わるべき方向について提案し, フロアとの活発な議論を通して理解を深めたい。

人工知能(AI)のさらなる発達で職業を入れ替え, 働き方を変える可能性を高めている。外国語コミュニケーションの分野でも, 翻訳・通訳がAI利用により簡便かつ日常的な営みへと変化するという見方がある。発表者はこの見解を支持し, リメディアル英語授業は人材育成と人間教育の両方に貢献すべきものとして, 以下のごとく提案する。

1. リメディアル英語は復習・補習という考えを排して, 授業担当者の専門的知識・経験を存分に生かした授業を計画する。
2. 「使える英語」を目指すことは, 現状では非現実的かつ非効率であるとの認識を持つ。
3. 外国語の学習過程にこそ, 人材育成のために獲得させるスキルがある。
4. リメディアル授業が人生で「最後」の学校英語ととらえ, 卒業後も糧となる人間教育を目指す。

司会 村上 裕美(関西外国語大学短期大学部)

11:10~12:10 招待講演①(学校教育部会)

居神 浩(神戸国際大学)

「マージナル大学におけるリメディアル教育の意義について」

2010年に「マージナル大学」の概念とその社会的意義を世に問うて以来(「ノンエリート大学生に伝えるべきこと—『マージナル大学』の社会的意義」『日本労働研究雑誌』2010年9月号),教育学系の学会や研究会などに呼ばれ,お話しする機会が多々あった。その際に常々重要だと感じてきたのが,お互いの「認識の準拠枠組み」を理解し合うということである。私の本来の専攻は社会政策であり,私の教育学的な分析・思考の背景には,自身の専攻に基づいた認識の準拠枠組みが存在する。それは,労働問題や社会保障に関する政策の理解につながる「主権者教育」を強く意識したものである。今回はその点を基軸に,対話可能な論点をいくつか提起していきたい。

司会 児玉 英明(京都三大学教養教育研究・推進機構)

13:00~15:00 学校教育部会シンポジウム

「これで良いのか,日本のリメディアル教育—マージナル大学提唱者の居神先生を迎えて本音で語り合う—」

企画者 鷺北 貴史(高崎経済大学)

登壇者 居神 浩(神戸国際大学)

長尾 佳代子(大阪体育大学)

中村 紘子(武庫川女子大学)

吉沢 一也(大阪体育大学)

鷺北 貴史(高崎経済大学)

企画者は,学力も意欲も多様な教育困難校において,教員として格闘してきた。教育関連学会は多数あるが,多くは海外の先進事例の紹介や偏差値上位校の成功事例の共有に偏重し,教育困難校における教員の葛藤が語られることは少ない。そんな中,企画者はそれができる場を求め,わらにもすがる思いでリメディアル学会に参加した。しかし,近年では,本学会も他学会と同様に,研究としての水準が重視されつつある。企画者は「教育困難校の問題を軽視する本学会に失望している人が増えているのではないかと考える。一方で,「本学会の研究水準をもの足りなく感じている人が多いのではないかと」の意見もある。「研究者=大学教師」という声に対し,教育困難校における「研究」「教員の役割」とは何か,また本

学会の存在意義,他の教育学会との違いは何か。これらについて考えるべき時期が来ていると思う。本シンポジウムでは,マージナル大学提唱者の居神先生を迎え,これらを本音で語り合う場とした。

司会 石毛 弓(大手前大学)

15:15~17:00 招待講演②(関西支部会・学習言語部会)

大津 由紀雄(明海大学)

「ことばの力の育成を基盤に置いたリメディアル教育」

ことばは人間だけに与えられた宝物であり,ことに,母語は理解,思考,判断,産出という人間の認知活動の基盤を成す重要な存在です。ところが,近年の学校教育における国語教育や英語教育は「コミュニケーション」志向の名の下に,ことばの運用の行動的側面にだけ着目した教育が幅を利かせています。ことばの力を教科等横断的に育成するというのが現行の学習指導要領の基本的考えですが,これまた,お題目以上の本質的指導が行われているのは例外的です。

このような状況に鑑み,言語教育関係者に限らず教育関係者がことばの性質をきちんと理解し,児童・生徒・学生たちがその力を十分に発揮させることができるようになるための教育的支援を行うことこそ,リメディアル教育の中核に位置づけられなくてはならないと考えます。今回の講演では,大津の勤務校での実践も含め,できるだけ具体的にお話をしたいと考えています。

司会 村上 裕美(関西外国語大学短期大学部)

17:30~20:00 関西支部懇親会

懇親会に参加される方は,事前に児玉(hideakikodama(at)kpu.ac.jp:送信の際には,(at)は@に変更のこと)へ11月30日(水)までにメールで連絡ください。費用は4000円~5000円,北山駅周辺で開催します。

(関西支部会支部長 児玉 英明)

第5回 関東・甲信支部会支部大会のご案内

日本リメディアル教育学会(JADE)関東・甲信支部会(茨城,栃木,群馬,埼玉,千葉,東京,神奈川,山梨,長野)の第5回大会

(2016 年度)を、神田外語学院のご協力により、下記のとおり開催いたします。JADE の関東・甲信支部会の大会ですが、JADE の会員であれば、どなたでもご参加いただけます。なお、学会員でない方の参加も可能です。

入試時期のたいへんお忙しい時期とは存じますが、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。なお、参加費等の徴収はありません。

日 時:2017 年 2 月 11 日(土) 13 時 00 分～17 時 00 分
(予定, 前回大会に準じます)

会 場:神田外語学院(3 号館)

〒101-8525 東京都千代田区内神田 2-13-13

交通アクセス:JR 神田駅西口より徒歩 2 分

<http://www.kandagai.go.ac.jp/kifl/access/>

内 容:

- 開会式(関東・甲信支部総会)
- 個人研究発表(1 件 20 分[発表 15 分+質疑 5 分])
- 名刺交換会

プログラム(研究発表の申し込み件数等により臨機応変に対応, 詳細は 1 月に発表)

- 研究発表を募集いたします
 - ・ 発表資格:JADE 会員であること
 - ・ 受付方法:「参加申込みフォーム」(会員にメールで案内済み)からの申込み
- ※「ご連絡・お問合せ等」の欄に、「発表タイトル(仮題可)」と「発表概要(200 字程度まで)」をご記入ください。
- ・ 申込み締切:2016 年 12 月 23 日(金)
 - ・ 採択結果通知:2016 年 12 月 31 日(土)
 - ・ 予稿集原稿締切:2017 年 1 月 10 日(火)

※予稿集原稿は、インターネットでの公開を原則といたしますので、あらかじめご承知おきください。

・原稿フォーマット:採択結果の通知時に添付(全国大会に準じます)

○ 大会参加者を募集いたします

・ 受付け締切:2017 年 2 月 6 日(月)

※ 当日参加も可、ただし、あらかじめお申込みいただければ名札をご用意いたします。参加人数把握のためにも事前申し込みへのご協力をお願い申し上げます。

・ 受付方法:「参加申込みフォーム」からの申込み

○ 今大会では、従来の「情報交換会」は開催いたしません。その代わりに、茶話会形式の「名刺交換会」を実施します。研究発表終了後、御用とお急ぎでない方は、是非ともお残りください。

○ 問い合わせ先:大会専用メールアドレス:

[jadekankou5taikai\(at\)gmail.com](mailto:jadekankou5taikai(at)gmail.com)

JADE 関東・甲信支部会 支部長 高松 正毅(高崎経済大学):

[takamas\(at\)tcue.ac.jp](mailto:takamas(at)tcue.ac.jp) 送信の際には、(at)は@に変更のこと

(関東・甲信支部会 支部長 高松 正毅)

会誌への論文等の投稿について

会誌『リメディアル教育研究』では、リメディアル教育に関する研究、教材や教授法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集します。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限り(編集委員会が特に認めた場合は、非会員からの論文等を掲載することもあります)。掲載の採否は、査読審査を経たのち、編集委員会において決定します。原稿料の支払い、掲載料の徴収はいたしません。

【文責】寺田 貢

【編集】大野 早苗